

2025年12月22日

四国地域の経済動向（概要）
（2025年10月分）

～四国地域の経済は、持ち直しの動きがやや鈍化している～（→）
（持ち直しの動きがやや鈍化している）

生産（→）	鉱工業生産は、弱含みで推移している。《弱含みで推移》 鉱工業生産指数は、前月比が2カ月連続で上昇した。
個人消費（→）	個人消費は、持ち直している。《持ち直している》 百貨店・スーパー販売額（全店）は、12カ月連続で前年を上回った。 コンビニエンスストア販売額は、8カ月連続で前年を上回った。 家電大型専門店販売額は、2カ月ぶりに前年を上回った。 ドラッグストア販売額は、52カ月連続で前年を上回った。 ホームセンター販売額は、4カ月連続で前年を下回った。 乗用車新車新規登録・届出台数は、4カ月連続で前年を下回った。
住宅着工	新設住宅着工戸数は、7カ月連続で前年を下回った。
公共工事	公共工事は、請負金額が2カ月連続で前年を下回り、年度累計は18カ月連続で前年度を上回った。
設備投資	2025年度の設備投資計画額は、2年連続で前年度を上回る見込み。
雇用	雇用は、有効求人倍率が2カ月ぶりに前月を下回り、一般新規求人数は2カ月ぶりに前年を下回った。
倒産	倒産件数は、2カ月ぶりに前年を下回り、負債総額は2カ月連続で前年を上回った。

注意：（ ）内は基調判断の動き。→は据え置き、↗は上方修正、↘は下方修正を示す。《 》内は前月の基調判断を記載している。

【四 国 の 経 済 指 標】 2025年10月

	四 国			全 国		
	前月比(%)	前年同月比(%)		前月比(%)	前年同月比(%)	
鉱工業生産指数 (2020年=100、季節調整済 前年同月比は原指数)	96.3	0.4	▲ 0.1	104.6	1.4	1.5
鉱工業出荷指数 (〃)	92.3	0.7	▲ 3.7	101.9	1.3	0.8
鉱工業在庫指数 (〃)	106.0	3.2	4.6	100.5	0.6	▲ 1.7
百貨店・スーパー販売額 (単位：億円) (全 店)	478		4.3	18,810		5.1
			1.2			3.3
コンビニエンスストア販売額 (単位：億円)	261		0.4	11,318		2.6
家電大型専門店販売額 (単位：億円)	66		7.6	3,679		11.0
ドラッグストア販売額 (単位：億円)	257		8.0	7,859		6.0
ホームセンター販売額 (単位：億円)	75		▲ 1.4	2,715		0.2
乗用車新車新規登録・届出台数 (単位：台)	10,291		▲ 1.7	327,568		▲ 2.9
新設住宅着工戸数 (単位：戸)	1,269		▲ 14.0	71,871		3.2
公共工事請負金額 (単位：億円)	399		▲ 14.7	13,327		18.1
有効求人倍率 (季節調整済)	1.28	(前月差	▲ 0.03)	1.18	(前月差	▲ 0.02)
企業倒産件数 (単位：件)	19		▲ 5.00	965		6.16

※前月比、前年同月比は、増減率を示す。有効求人倍率(季節調整済)は、前月差(ポイント差)を示す。

（本発表資料のお問い合わせ先）
四国経済産業局 総務企画部参事官（調査担当） 藤井
担当者：三野
電 話：087-811-8509（直通）
URL：<https://www.shikoku.meti.go.jp/>

四国地域の経済動向

(2025年10月分)

1. 鉱工業生産 ～弱含み～

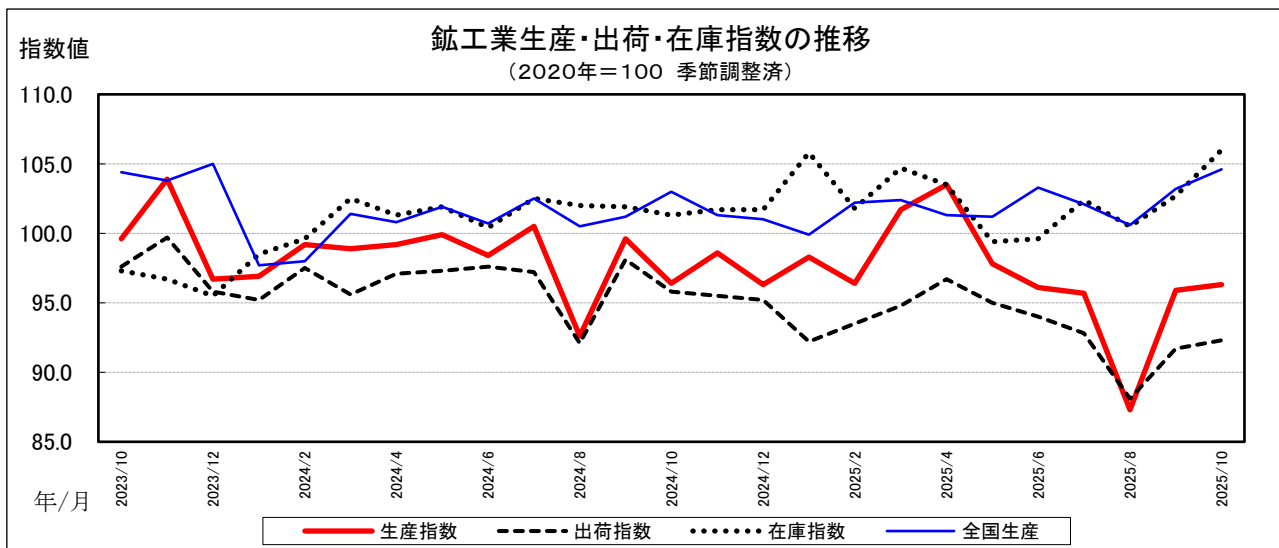
当月の鉱工業指数をみると、前月比では、生産は2カ月連続の上昇、出荷は2カ月連続の上昇、在庫は2カ月連続の上昇、在庫率は5カ月連続の上昇となった。なお、前年同月比では、生産は6カ月連続の低下、出荷は10カ月連続の低下、在庫は2カ月連続の上昇、在庫率は12カ月連続の上昇となった。

生産は、前月比0.4%増(前年同月比0.1%減)となり、生産指数(季節調整済)は96.3となった。業種別にみると、汎用・生産用機械工業、食料品工業などが上昇し、化学・石油石炭製品工業、繊維工業などが低下した。出荷は、前月比0.7%増(前年同月比3.7%減)となった。業種別にみると、汎用・生産用機械工業、非鉄金属工業などが上昇し、化学・石油石炭製品工業、繊維工業などが低下した。在庫は、前月比3.2%増(前年同月比4.6%増)となった。業種別にみると、非鉄金属工業、化学・石油石炭製品工業などが上昇し、プラスチック製品工業、繊維工業などが低下した。在庫率は、前月比0.2%増(前年同月比16.0%増)となった。

【鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済) 2020年=100】

(増減率:%)

前月(年)比	2024	2025/5	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9	2025/10
生産指数	▲ 0.7	▲ 5.5	▲ 1.7	▲ 0.4	▲ 8.8	9.9	0.4
出荷指数	▲ 0.5	▲ 1.8	▲ 1.1	▲ 1.3	▲ 5.1	4.1	0.7
在庫指数	4.4	▲ 4.0	0.2	2.8	▲ 1.9	2.2	3.2



※最新月は速報値

(出所:経済産業省「鉱工業指数」、四国経済産業局「四国地域の鉱工業生産・出荷・在庫指数」)

2. 個人消費 ～持ち直している～

(1) 小売販売

当月の百貨店・スーパー259店(百貨店4店とスーパー255店)の販売額合計は477.8億円で、前年同月比4.3%増と12カ月連続で前年を上回った。

業態別にみると、百貨店4店の販売額は59.7億円で、前年同月比2.1%増と2カ月ぶりに前年を上回った。品目別にみると、その他の商品は高級時計や宝飾品などの高額品が好調だったことなどから、2カ月ぶりに前年を上回った。一方、身の回り品はインポートバッグなどの動きが鈍かったことなどから、2カ月連続で前年を下回った。また、衣料品は気温が高めに推移し秋冬物衣料が苦戦したことなどから、2カ月連続で前年を下回った。

スーパー255店の販売額は418.1億円で、前年同月比4.6%増と12カ月連続で前年を上回った。品目別にみると、飲食物品は米の高値が続いているほか、冷凍食品や総菜、鮮魚の動きが良かったことなどから、12カ月連続で前年を上回った。その他の商品は化粧品や玩具が好調だったことなどから、8カ月連続で前年を上回った。また、家庭用品はフライパンや鍋などの調理器具に動きがみられたことなどから、2カ月連続で前年を上回った。

コンビニエンスストア1,567店の商品販売額及びサービス売上高は260.9億円で、前年同月比0.4%増と8カ月連続で前年を上回った。

家電大型専門店83店の販売額は65.9億円で、前年同月比7.6%増と2カ月ぶりに前年を上回った。

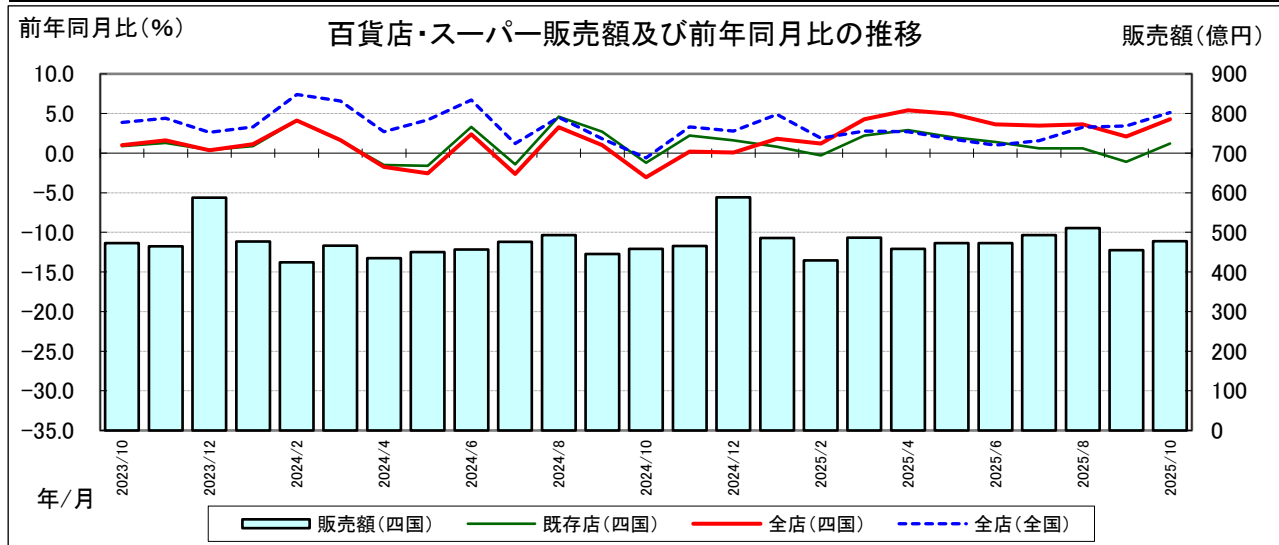
ドラッグストア673店の販売額は257.0億円で、前年同月比8.0%増と52カ月連続で前年を上回った。

ホームセンター203店の販売額は75.0億円で、前年同月比1.4%減と4カ月連続で前年を下回った。

【百貨店・スーパー販売額】

(増減率: %)

前年同月(年)比	2024	2025/5	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9	2025/10
全 店	0.3	5.0	3.6	3.5	3.6	2.1	4.3
既存店	1.2	2.0	1.4	0.6	0.6	▲ 1.1	1.2



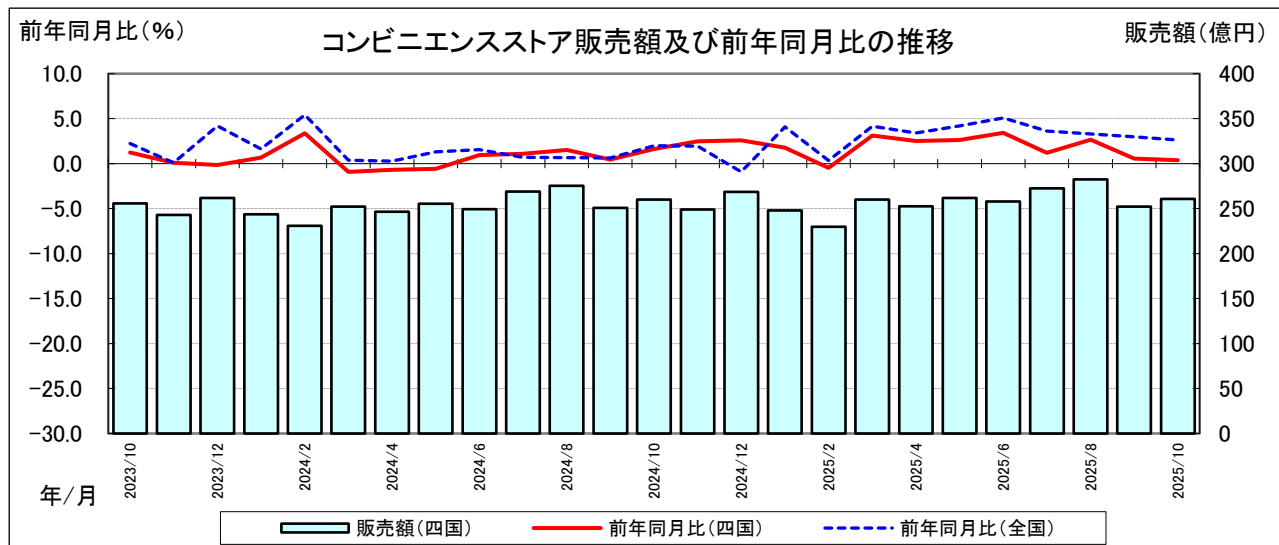
※最新月は速報値

(出所:経済産業省「商業動態統計調査」、四国経済産業局「四国地域の百貨店・スーパー販売状況」)

【コンビニエンスストア販売額】

(増減率: %)

	2024	2025/5	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9	2025/10
前年同月(年)比	1.0	2.6	3.4	1.2	2.7	0.6	0.4



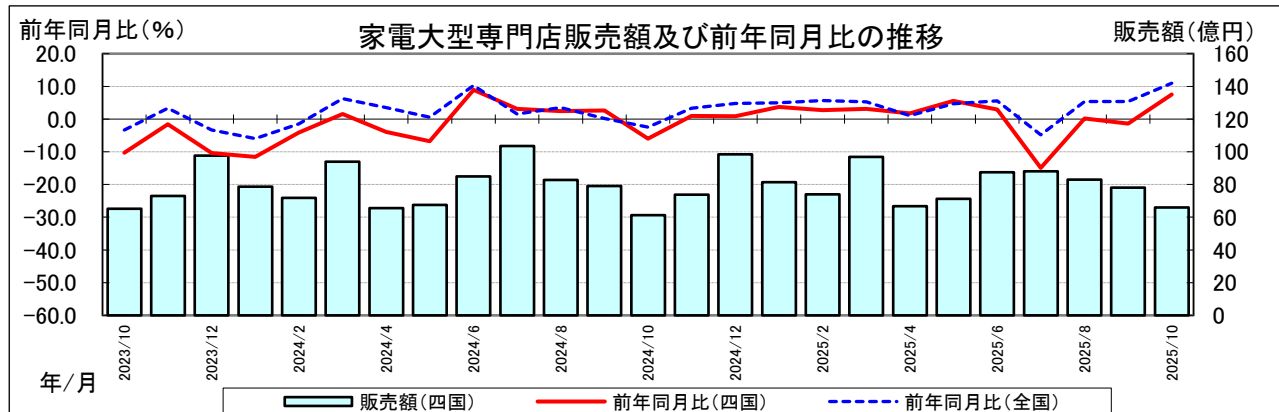
※最新月は速報値

(出所:経済産業省「商業動態統計調査」)

【家電大型専門店販売額】

(増減率: %)

	2024	2025/5	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9	2025/10
前年同月(年)比	▲ 0.8	5.6	3.0	▲ 14.9	0.2	▲ 1.3	7.6



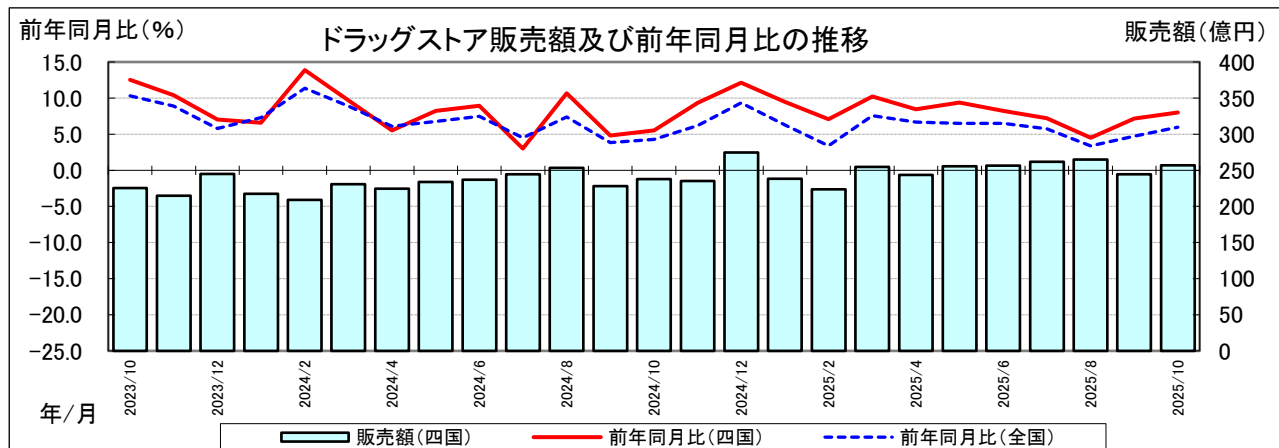
※最新月は速報値

(出所:経済産業省「商業動態統計調査」)

【ドラッグストア販売額】

(増減率: %)

	2024	2025/5	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9	2025/10
前年同月(年)比	8.1	9.4	8.2	7.2	4.5	7.2	8.0



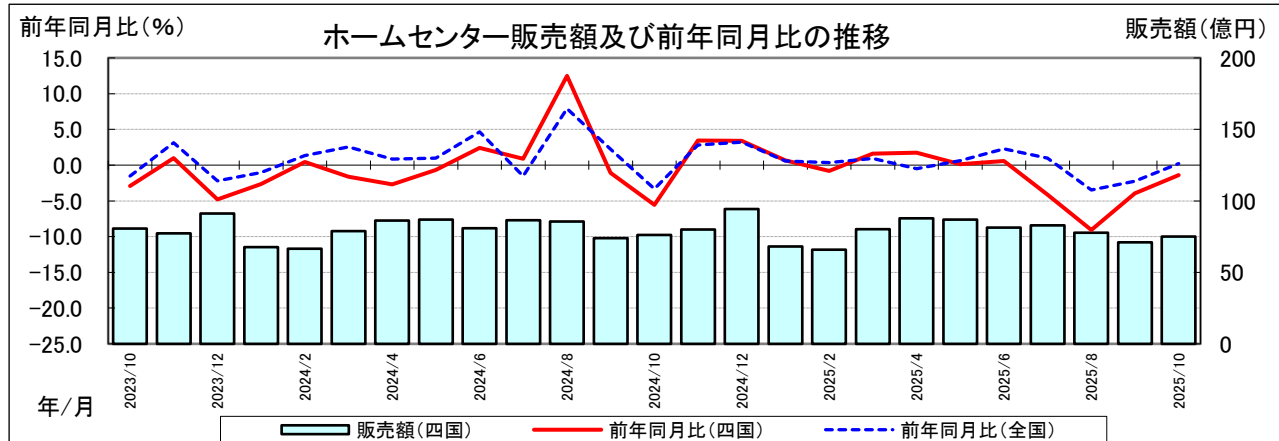
※最新月は速報値

(出所:経済産業省「商業動態統計調査」)

【ホームセンター販売額】

(増減率: %)

	2024	2025/5	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9	2025/10
前年同月(年)比	0.7	0.1	0.6	▲ 4.1	▲ 9.1	▲ 4.0	▲ 1.4



※最新月は速報値

(出所:経済産業省「商業動態統計調査」)

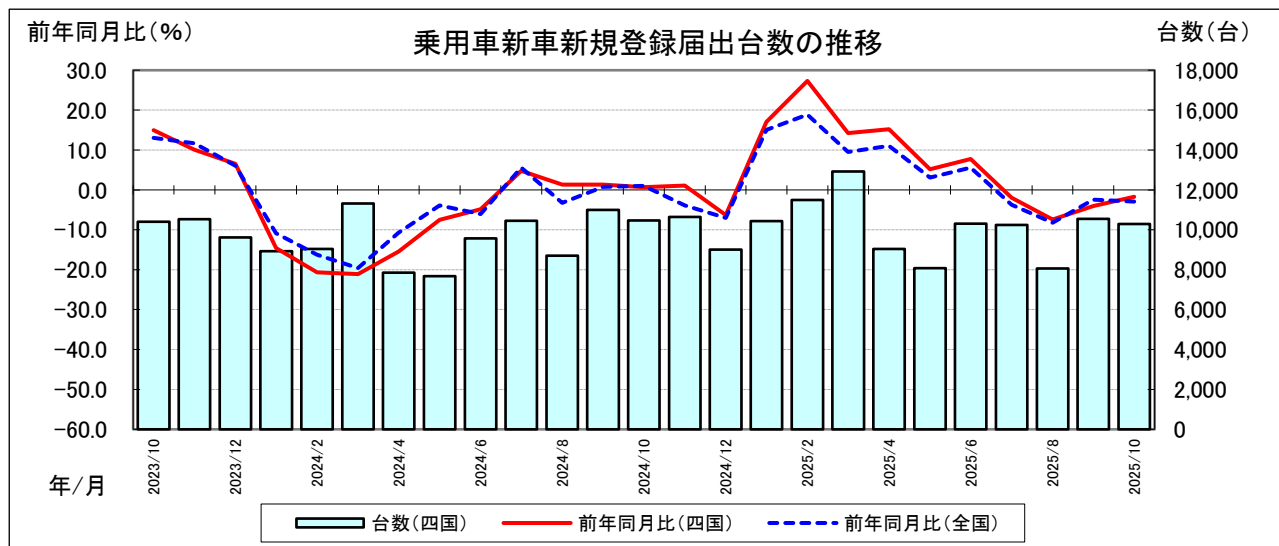
(2) 乗用車新車新規登録・届出台数

当月の乗用車新車新規登録・届出台数は10,291台で、前年同月比1.7%減となり、4カ月連続で前年を下回った。車種別でみると、普通乗用車が前年同月比5.7%減、小型乗用車が同11.6%減、軽乗用車が同7.5%増となった。

【乗用車新車新規登録・届出台数】

(増減率: %)

	2024	2025/5	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9	2025/10
前年同月(年)比	▲ 7.4	5.1	7.7	▲ 2.0	▲ 7.4	▲ 4.1	▲ 1.7



(出所: (一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

3. 住宅着工

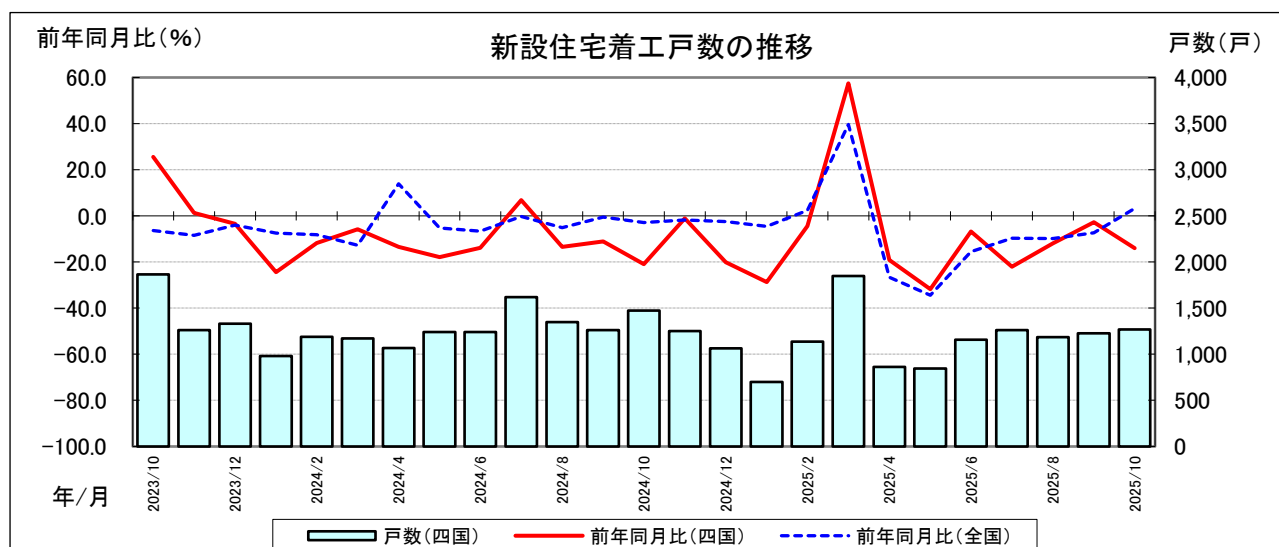
当月の新設住宅着工戸数は1,269戸で、前年同月比14.0%減となり、7カ月連続で前年を下回った。

区分別でみると、持家が前年同月比10.8%減、貸家が同47.2%減、分譲住宅が同21.9%増となった。

【新設住宅着工戸数】

(増減率: %)

	2024	2025/5	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9	2025/10
前年同月(年)比	▲ 12.4	▲ 31.8	▲ 6.8	▲ 22.0	▲ 11.9	▲ 2.8	▲ 14.0



(出所: 国土交通省「建築着工統計調査」)

4. 公共工事

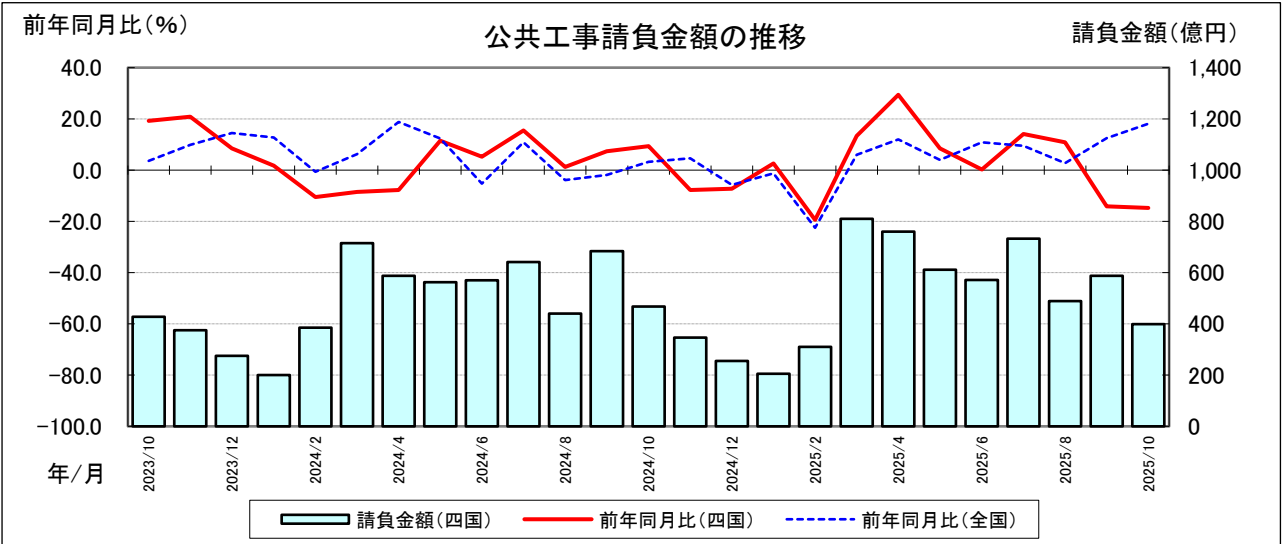
当月の公共工事の発注状況を請負金額でみると399億円で、前年同月比14.7%減と2カ月連続で前年を下回った。前年度同月累計比では4.9%増と18カ月連続で前年度を上回った。

発注者別では、国が前年同月比5.8%減、県が同16.9%減、市町村が同12.6%減、独立行政法人等が同19.1%減となった。

【公共工事請負金額】

(増減率: %)

	2024	2025/5	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9	2025/10
前年同月(年度)比	3.4	8.5	0.2	14.1	10.9	▲ 14.1	▲ 14.7
前年度同月累計比	-	19.2	12.9	13.2	12.9	7.6	4.9



(出所:北海道建設業信用保証㈱・東日本建設業保証㈱・西日本建設業保証㈱「公共工事前払金保証統計」)

5. 設備投資

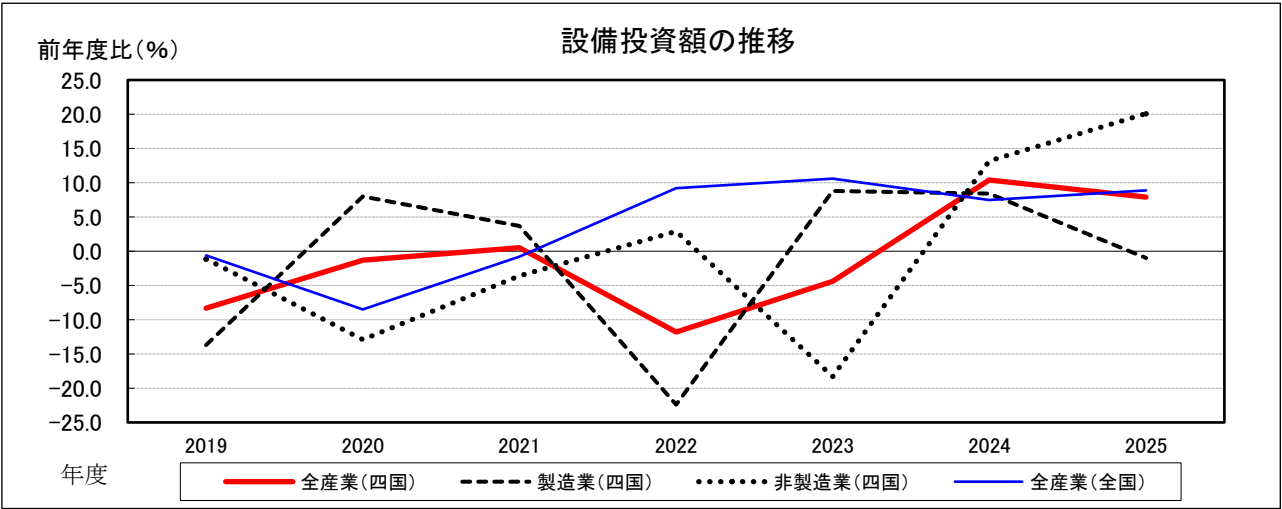
2025年度の設備投資計画は、前年度比7.9%増となっている。

業種別では、製造業が前年度比1.0%減、非製造業が同20.1%増となっている。

【設備投資額(含む土地投資額)】

(前年度比: %)

	2019 年度実績	2020 年度実績	2021 年度実績	2022 年度実績	2023 年度実績	2024 年度実績	2025 年度計画
全産業	▲ 8.3	▲ 1.3	0.5	▲ 11.8	▲ 4.4	10.4	7.9
製造業	▲ 13.7	8.0	3.7	▲ 22.4	8.8	8.4	▲ 1.0
非製造業	▲ 1.1	▲ 12.9	▲ 3.6	2.9	▲ 18.3	13.2	20.1



(出所:日本銀行「企業短期経済観測調査」)

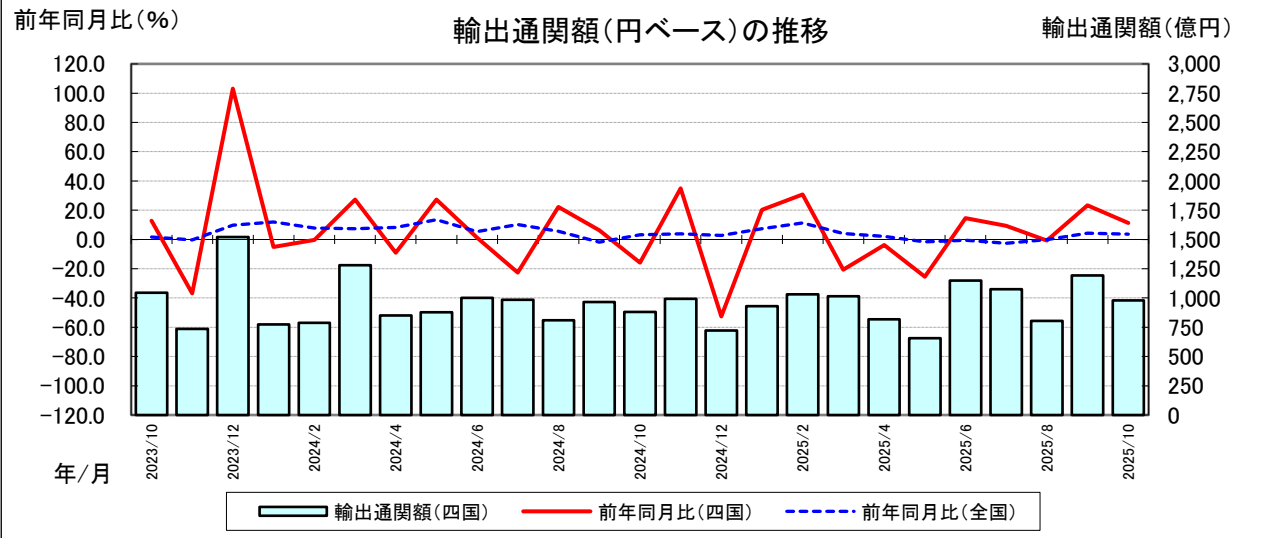
6. 貿 易

(1) 輸出

当月の輸出通関額(円ベース)は980億円で、石油製品、有機化合物などが減少したものの、船舶、織物用繊維及びくずなどが増加したため、前年同月比11.4%増と、2カ月連続で前年を上回った。

【輸出通関額】 (増減率: %)

	2024	2025/5	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9	2025/10
前年同月(年)比	▲ 3.9	▲ 25.4	14.6	9.3	▲ 0.7	23.4	11.4



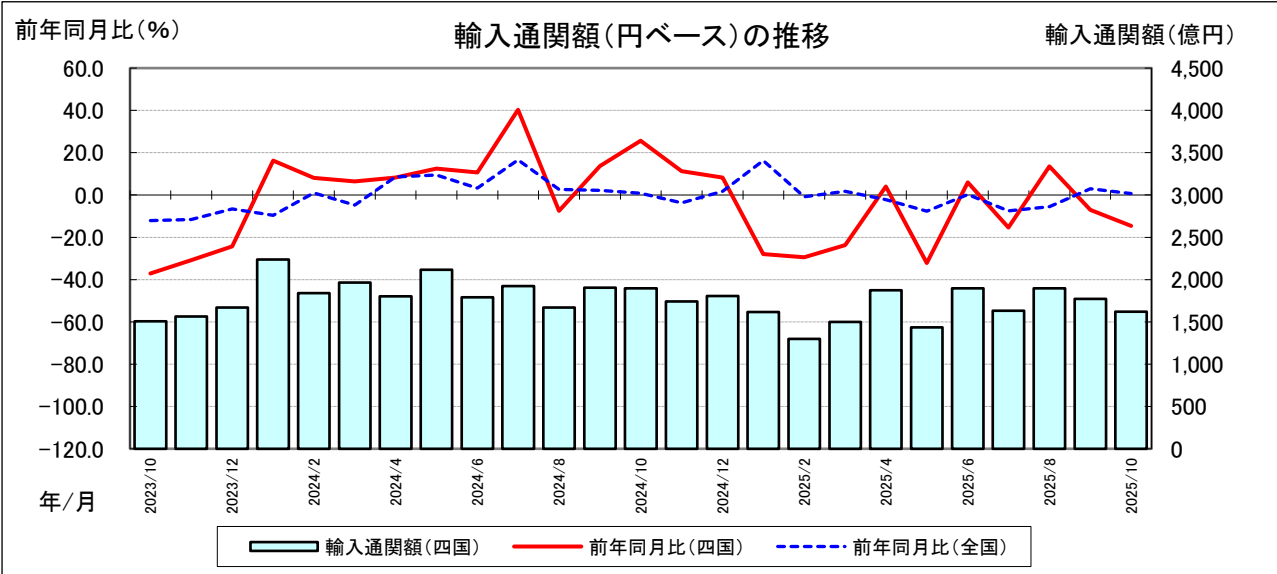
(出所:神戸税関「貿易統計」)

(2) 輸入

当月の輸入通関額(円ベース)は1,619億円で、天然ガス及び製造ガス、金属製品などが増加したものの、金属鉱及びくず、原油及び粗油などが減少したため、前年同月比14.6%減と、2カ月連続で前年を下回った。

【輸入通関額】 (増減率: %)

	2024	2025/5	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9	2025/10
前年同月(年)比	12.1	▲ 32.2	5.9	▲ 15.3	13.6	▲ 7.1	▲ 14.6



※最新月は速報値

(出所:神戸税関「貿易統計」)

7. 雇 用

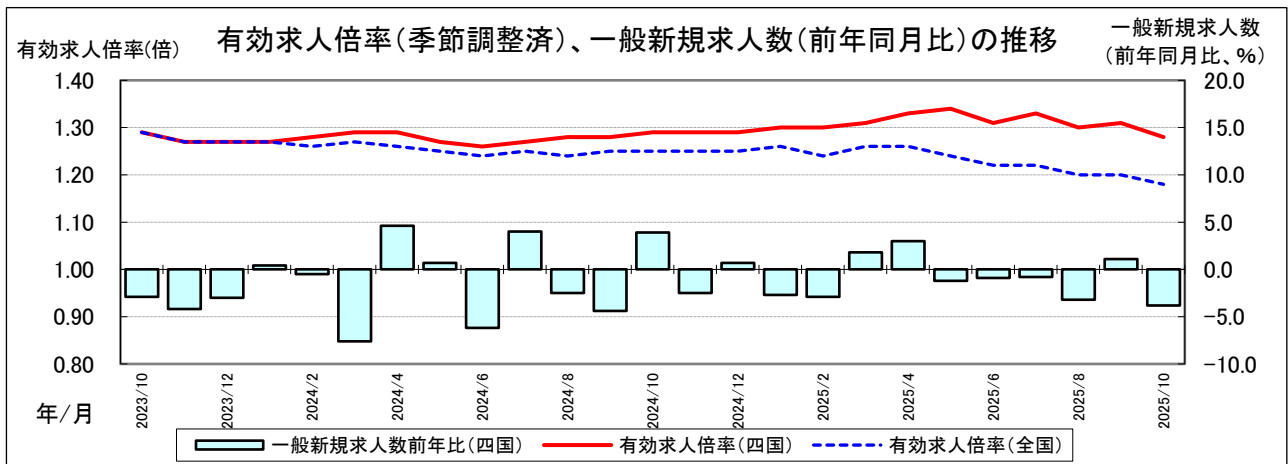
当月の雇用情勢をみると、有効求人倍率(季節調整済)は1.28倍で、2カ月ぶりに前月を下回った。

産業別の一般新規求人数(新規学卒、パートタイムを除く)をみると、「建設業」、「製造業」などが前年を上回ったものの、「サービス業(他に分類されないもの)」、「医療、福祉」などが前年を下回り、全体では前年同月比3.8%減と、2カ月ぶりに前年を下回った。

【雇用】

(倍、増減率:%)

	2024	2025/5	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9	2025/10
有効求人倍率(季節調整済)	1.28	1.34	1.31	1.33	1.30	1.31	1.28
一般新規求人数(前年同月(年)比)	▲ 0.8	▲ 1.2	▲ 0.9	▲ 0.8	▲ 3.2	1.1	▲ 3.8



(出所:厚生労働省「職業安定業務統計」、四国4県の労働局データを加工)

8. 企業倒産

当月の企業倒産状況をみると、倒産件数は19件で前年同月比5.00%減と、2カ月ぶりに前年を下回った。

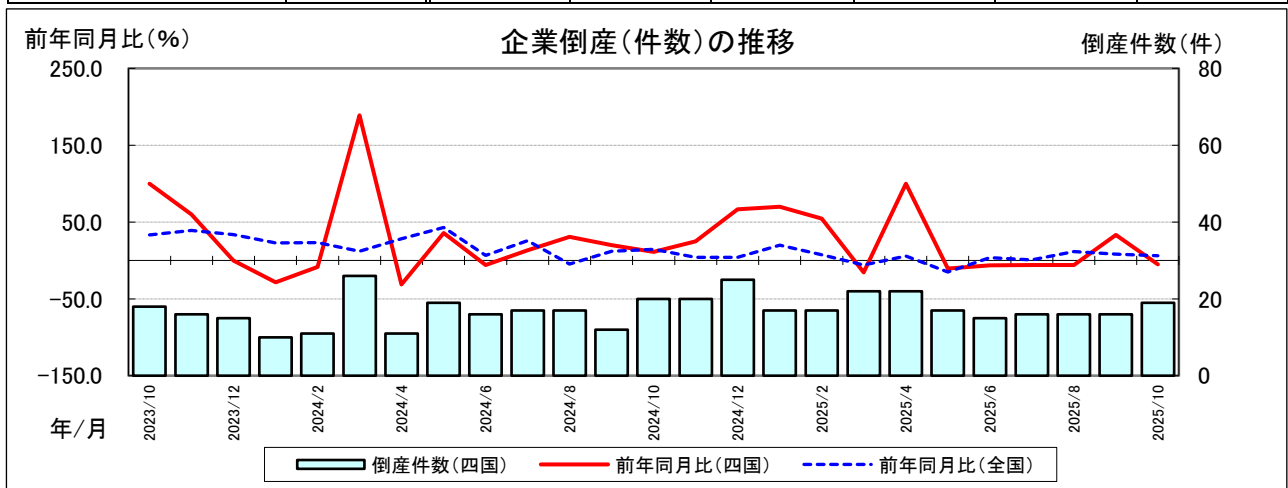
また、負債総額は42.6億円で、前年同月比121.00%増と、2カ月連続で前年を上回った。

10月の過去10年間をみると、倒産件数、負債総額ともに2番目となっている。原因別では、販売不振が12件、既往のシワ寄せが5件、放漫経営、過小資本が各1件となっている。また、産業別では、製造業、サービス業他が各6件、卸売業が3件、農・林・漁・鉱業、建設業、小売業、運輸業が各1件となっている。

【企業倒産】

(件、負債総額:百万円)

	2024	2025/5	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9	2025/10
件数	204	17	15	16	16	16	19
負債総額	24,007	4,201	1,460	1,834	1,351	1,695	4,263



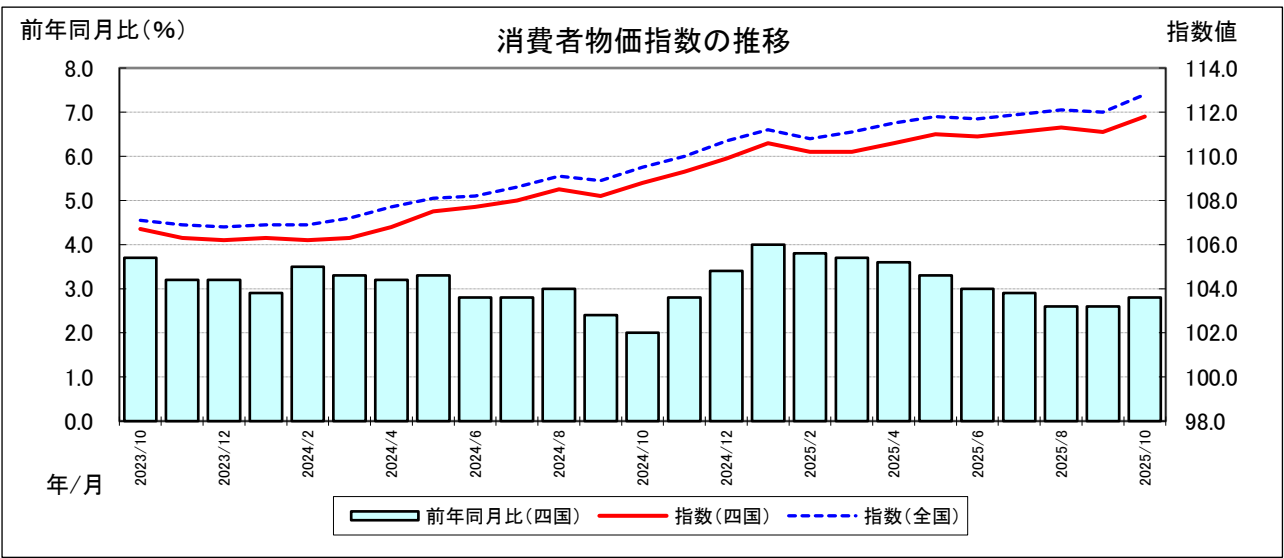
(出所:㈱東京商工リサーチ)

9. 消費者物価

当月の消費者物価指数は111.8で、保健医療、被服及び履物が低下したものの、食料、交通・通信などが上昇したことから前月比0.7％増となった。また、前年同月比は、食料、交通・通信などが上昇したことから2.8％増となった。

【消費者物価指数 2020年＝100】 (増減率：％)

	2024	2025/5	2025/6	2025/7	2025/8	2025/9	2025/10
前月(年)比	3.0	0.3	▲ 0.1	0.2	0.2	▲ 0.2	0.7



(出所：総務省「消費者物価指数」)